



かけはし

金橋小学校だより No.2
2026(令和8)年4月17日
発行者:伊禮徳彦

本格的に学校が動き出しました!

給食も始まり、6時間授業も始まり、1年生もみんなと同じ時間に帰るようになりました。学校がよいよ動き出しました。

中休み、お昼休みには外で元気よく遊ぶ姿が見られます(金橋小学校では、お天気の日には外遊びを奨励しています。体調がいい人は外で遊びましょう!)

今週は特に天気がよかったので、汗をかいて遊ぶ子もいました。にぎやかで、これぞ学校という感じです。

校内にいる子たちもいて、折り紙をしたり、本を読んだりして自分の気持ちを落ち着けている子もいます。月曜日に委員会があったので、委員会活動をしている高学年の子もいました。



写真ではうまく伝わりませんが、おにごっこをして遊んでいる子たちがたくさんいます。遊具も大人気!

分団会

学期初めには、分団会が行われます。今回は年度初めでもあるので、集合場所、集合時刻を決めたり、分団のめあてを決めたり、並び方を考えたりしました。何より、1年生を知るということも今回は重要なことでした。

自分の家の近くに住んでいる子の顔はもちろんのこと、その子がどんな子かを知っていることがベースにあって、その上で、お互いがお互いの安全を考えて協力し合いながら登校するのが分団登校です。登校は毎日なので、その間にはいろいろなことがあります。そういう経験や、毎週行われるミニ分団会や毎回の分団会での話し合いを積み重ねることで、よりお互いを知り合っ、人間関係を作りながら登校できるようになっていきます。

今は、5・6年生の分団長や副分団長が下学年の子たちに心を配りながら登校しています。お兄さん、お姉さんとして、頑張っている姿がとても輝いています。

保護者の方々、登下校の見守りありがとうございます。

大人が子どもの成長を信じて見守ることで、子どもたちは大きくなっていきます。これからも、過度な負担とならない範囲、持続可能な形で見守っていただければと思います。



田んぼの中を歩く子たち。柵と同じくらいの背丈で人影が隠れてしまうのですが、黄色の帽子がよく目立って、居場所を教えてください。



ミニ分団会の様子です。運動場にそれぞれ集まる場所があって、そこで分団のみさんと担当の先生でお話をします。

地震避難訓練

14日(火)熊本地震から10年を迎える日に避難訓練を行いました。1年生にとってはどこにどの教室があるのかわからない時期ですが、とにかく逃げる経路だけでも早く知っておくほうがいいという理由から金橋小ではこの時期に行っています。2年生以上の子も、新しい教室からはどう避難すればいいのか、早く知っておくことにしたことはありません。

全員が運動場に避難するのにかかった時間は約4分でした。避難訓練の事前学習をしていたといえ、素早く避難できたと思います。短い時間で避難するにこしたことはありません。しかし、時間よりも大事なものは「今日学校に来ている子全員が安全に避難できたか」ということです。けがをしている

人、体調がよくない人、避難途中でこけてしまった人がいるかもしれません。自分自身を大事にしながらも、そういう人を気遣いながらみんな避難できるようにしましょう、とお話をしました。

地震はいつ起こるのかわかりません。学校かもしれないし、家でもかもしれません。子どもたちには「家で地震が起こった時にはどうするのか、お家でもお話をしておくねん」と伝えていきます。こういう機会にお家でもお話をさせていただけたらと思います。

～「子どもの登下校時の送迎」「下校に関わる電話」について～

- ・学校には保護者用の駐車場はありません(体育館横の駐車場は職員専用です)。とはいえ、緊急の場合、学校から許可を得ている場合、事情がある場合には車の送迎も必要となります。その場合は、JAの駐車場に止めないなどルールを守っていただくとともに、事故のないよう十分にお気を付けください。
- ・下校直前に「帰る方法を変更したいので子どもに伝えてほしい」という電話が入ることがあります。迅速かつ正確に対応することが難しい場合もあります。事前にお子様とお話していただき、急な変更のないようお願いいたします(緊急時はこの限りではありません)。変更の場合は連絡帳をお願いいたします。

震度とゆれの状況

0	震度0 人はゆれを感じない。	1	震度1 室内で静かにしている人の7割は、揺れをわずかに感じる人がいる。	2	震度2 室内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。	3	震度3 屋外にいる人のほとんどが、揺れを感じる。		
4	震度4 ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。	5弱	震度5弱 ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまらないうちに感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	5強	震度5強 ●物につかまらないうちに歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本が落ちるものが多くなる。 ●固定していない家具が揺れることがある。 ●補強されていないブロック壁が揺れることがある。	6弱	震度6弱 ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが閉がなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●加震性の低い木造建築物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある、倒れるものもある。	6強	震度6強 ●はわなと動くことができず、固定されているものも倒れるものがある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものがある。 ●加震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものがある。 ●大きな揺れが生じたり、大規模な土すべりや山の崩壊が発生することがある。
7	震度7 ●加震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●加震性の高い木造建築物でも、まれに傾くことがある。 ●加震性の低い鉄筋コンクリート造の建築物では、倒れるものがある。	<small>この表は、ある震度が観測された時に、その周辺で発生するゆれの状況や被害の目安を示したものです。 詳しい解説は以下の気象庁ホームページに掲載しています。 気象庁震度階級解説図表 https://www.mma.go.jp/jma/kishou/kenzo/shindo/kaisetsu.html</small>							